

【質問5】 国は団塊世代が後期高齢者となる2025年に向けて、医療・介護等の需要が全国で大幅に高まり、特に地域での医療や介護の受け皿を急速に整備することが必要としており、特に「地域包括ケアシステム」と称して、在宅医療等、従来の病院だけでなく幅広い施設での受け皿づくりと、地域での関係機関・職種等の連携等を含めた体制づくりを求めています。その際には最も住民に近い市町村の役割にも強い期待が向けられています。この課題について、どのようにお考えですか。（2000字程度までをめぐりに自由に記述ください。なお、字数は超過しても差し支えありません）

やました

山下 まこと氏の回答

地域包括ケアシステムの充実が重要な課題であると認識しています。介護保険の要支援の認定者が従前受けていた訪問介護・通所介護のサービスが平成29年度より介護予防・日常生活支援総合事業に移行したことに伴い、奈良市においても、当該事業の先進市の取組を参考に、早急に福祉団体、シルバー人材センターなどと連携し、制度の趣旨やニーズに合致した事業体制を構築します。また、ニーズ調査や実態を踏まえ、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、老人ホームなど高齢者福祉施設を拡充します。